

山梨近代人物館 第15回展示

# 山梨を舞台に 活躍したひとびと

富岡 敬明

石橋 湛山

塚本 定右衛門

野口 英夫

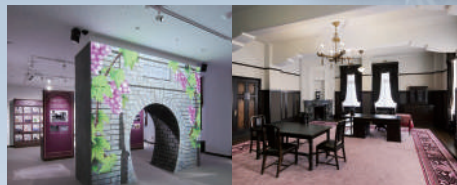
野口 正章

藤村 紫朗

山中 共古

ポール・ラッシュ

樋口 一葉



●ご来館時には、マスク着用・手指消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください。  
状況によっては入館制限を行うことがあります。

■展示期間/ 2022年3月25日(金)~2022年9月19日(月・祝)

- 開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 / 毎月第2・第4火曜日(その他臨時に休館する場合があります)
- 入館料 / 無料
- 住所 / 甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階
- お問い合わせ / TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991  
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

Website



Facebook



◆写真提供/株式会社ツカモトコーポレーション資料館「聚心庵」、石橋湛山記念財団、北杜市教育委員会、山梨中銀金融資料館、©(公財)キープ協会/ポール・ラッシュ記念館、山梨県立文学館、個人蔵

# 山梨近代人物館

The Museum of

MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県庁構内図 愛称:オープンガーデンやまなし





# 山梨を舞台に活躍したひとびと

甲州街道や富士川舟運が縦横に貫く山梨は、古くから多くのひとびとと文化が往来する地域でした。

山梨に來たりし者たちはこの地に何を残し、またこの山梨ではどのような交流が生まれ、

そしてどのような山梨を外部へと発信していったのでしょうか。

近代山梨を舞台として、ひとびとが私たちに残したものはどんなものなのか、振り返っていきましょう。

## 山梨を創る

### この県のかたちづくり

江戸から明治へ。山梨に大きな変化の波が訪れたこの時期、新しい山梨のかたちづくりに、さまざまなひとびとが携わっています。そのひとびとが示した強いリーダーシップや思いは、地域をどのように変え、現在の山梨にどのように息づいているのでしょうか。



藤村紫朗県令が筆を揮った「世泰時豊(世たいらかにして時ゆたかなり)」「(明治19年)

近江商人塚本定右衛門が植林費用を負担した荒廃した山梨の山々の造林状況(「山梨県直営塚本山造林実施概要」より)



日本で2番目の国産ビールを製造・販売した野口正章の広告(山梨県立博物館蔵)



富士山とポール・ラッシュ博士の胸像(©公益財団法人キープ協会)

## 山梨で育つ

### 人・モノ・文化をはぐくむ土壌

多くの人やモノが行き交う山梨では、文化や産業から教育まで、さまざまなものが育っていきました。この地域ならではの文化や経済的なポテンシャル、自然環境などが、人づくりや個性的な産業の発達をもたらし、現在のわたしたちが暮らす山梨づくりへとつながっていったのです。

## 山梨を描く

### 記録と記憶と憧憬の山梨

近代は新聞や小説をはじめとした文字とメディアの時代であり、言論や文芸の文化が花開いた時代でもあります。この頃、多くのひとびとが、さまざまな視点と思いをもって山梨を文字で描いています。それは時代を切り開いていく力であり、また山梨らしさを記録するものでもあり、憧れをあらわすものでもありました。



山中共古が勤めていた甲府教会(山梨県立博物館蔵)

社告を掲載した「山梨日日新聞」第4532号(明治23年2月28日号)



【展示で紹介する人物】富岡敬明、藤村紫朗、野口正章、山中共古、野口英夫、塚本定右衛門、樋口一葉、石橋湛山、ポール・ラッシュ(誕生順)

## 教育普及事業

毎月1回程度、展示紹介人物についてより深く知っていただくための人物学講座を開催いたします。講座のテーマについては、当館ホームページなどをご確認ください。ご参加をご希望の方は事前にお申し込みください。予定は変更になる場合があります。

Website



Facebook



※新型コロナウイルス感染症防止対策として、タブレットなどの展示端末の使用を制限しており、一部の写真や資料の閲覧が出来ない場合があります。

# 山梨近代人物館

甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階  
TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991  
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

JR中央線・身延線甲府駅南口徒歩5分  
乗用車の場合は、防災新館地下駐車場をご利用ください(駐車無料)

